

7 疾病 5 事業 在宅医療に関すること

各地域の現状 (できること、できないことの確認)	現状から見える課題と対応策(案) (医療資源の不足を補うための具体策)
<p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○北駿地域の人口（平成 29 年 4 月 1 日現在）は 106,666 人（御殿場市 87,607 人、小山町 19,059 人）である。 ○高齢化率（平成 28 年 4 月 1 日現在）は 23.4%（御殿場市 22.6%、小山町 27.1%）（県平均 27.6%）である。 ○高齢者世帯の割合は、御殿場市 17.7%、小山町 15.5%であり、県平均(23.6%)を下回っている。（平成 28 年 4 月 1 日現在） ○一人暮らし高齢者の割合は、御殿場市 9.7%、小山町 7.5%であり県平均（12.8%）を下回っている。（平成 28 年 4 月 1 日現在） ○医療施設数は、11 病院、医科診療所 55 箇所、歯科診療所 44 箇所となっている。（平成 29 年 5 月現在） ○診療所の医師数は 57 名で、内、60 歳以上が 45.6%、70 歳以上が 14.0%となっている。平均年齢は、御殿場市 58.65 歳、小山町 57.00 歳である。（平成 28 年 4 月現在） <p>【総論】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○当地域で医療体制の全てを網羅することは不可能であるとともに、その必要性にも疑問がある。医療圏域で検討するべきものと、当地域で検討するべき課題の区分けが必要。 ○当地域で検討が必要な主な課題は、①分娩を扱う医療機関の確保等、②小児二次救急の充実、③在宅医療（訪問診療等）の推進、④認知症患者医療センターの設置である。 <p>【がん】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域内に、五大がん等の集学的治療を担う医療機関はない。富士病院、東部病院、フジ虎ノ門整形外科病院が、専門的検査・診断を担っており、神山復生病院は緩和ケア病棟を有している。また、在宅療養（ターミナルケア）を担う診療所が 2 箇所あり、対応している。 ○平成 26 年度の 5 大がんの受診率は、乳がん検診以 	<p>【がん】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域内に集学的治療を担う医療機関はないものの、近隣に県の拠点病院である静岡がんセンターがあり、医療資源に恵まれている。 ○今後の在宅医療の需要を見据えた場合、ターミナルケアを担う診療所を増やしていく必要がある。 ○5 大がんの受診率は、概ね県平均を上回って

7 疾病 5 事業 在宅医療に関すること

各地域の現状 (できること、できないことの確認)	現状から見える課題と対応策(案) (医療資源の不足を補うための具体策)
<p>外は県平均を上回っており、特に子宮がん検診の受診率が高い。</p> <p>【脳卒中】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域内に、脳卒中の「救急医療」を担う病院はないものの、富士病院及び富士小山病院が 24 時間検査できる体制となっている。また、フジ虎ノ門整形外科病院が「身体リハビリテーション」を担っている。 ○在宅療養を支援する診療所は 2 箇所あるが、身体機能を回復させるリハビリテーションを担う医療機関はない。 ○地域内の市町では、健康づくり事業の中で、減塩や禁煙の啓発や研修に力を入れており、予防に努めている。 <p>【心筋梗塞等の心血管疾患】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○富士病院が、心筋梗塞等の救急医療を担っている。 ○地域内の市町では、健康づくり事業の中で、減塩や禁煙の啓発や研修に力を入れており、予防に努めている。 <p>【糖尿病】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○富士病院は、糖尿病の専門治療が 24 時間対応可能である。その他、血糖コントロール不可例などの治療方針の決定が可能な病院（神山復生病院、東部病院、富士小山病院、御殿場石川病院）が 4 箇所ある。 ○地域内の市町は、県のモデル事業である重症化予防対策事業には取組んでいないものの、特定健診の結果が要医療となりながら未受診の者に対して、個別に訪問等の指導を行っている。 ○地域内の市町は、29 年度中に調整を図り、30 年度から重症化予防事業のスタートを検討中。 <p>【ぜん息】</p>	<p>いるが、がん予防対策には早期発見、早期受診が最も重要であるため、精密検診の受診率を高めるため、市町を中心に引き続き受診勧奨に努める必要がある。</p> <p>【脳卒中】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○急性期については圏域での対応となっている。 ○通常の検査や治療、リハビリに関しては、地域内で対応できている。しかし、回復期リハを目的とした病床の拡大が課題。 ○今後は、連携パスを活用した取組みを推進していきたい。 <p>【心筋梗塞等の心血管疾患】</p> <p>【糖尿病】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○透析実施医療機関は 4 病院（富士病院、東部病院、富士小山病院、御殿場石川病院）、1 診療所あり、医療体制は充実している。 <p>【ぜん息】</p>

7 疾病 5 事業 在宅医療に関すること

各地域の現状 (できること、できないことの確認)	現状から見える課題と対応策(案) (医療資源の不足を補うための具体策)
<p>○地域内に、ぜん息の発作時に、呼吸管理等の治療を 24 時間対応可能な医療機関はない。</p> <p>【肝炎】</p> <p>○地域内に地域「肝疾患診療拠点病院」はない。</p> <p>○肝生検等の専門的検査による治療方針の決定をすることができる病院（自衛隊富士病院、東部病院、富士小山病院）は 3 箇所あるが、24 時間体制で肝不全への対応が可能な専門の医療機関はない。</p> <p>【精神】</p> <p>○地域内に、精神科病床を有する病院が 1 箇所（東富士病院）、心療内科または精神科を標榜している病院が 3 箇所（神山復生病院、フジ虎ノ門整形外科病院、富士山麓病院）、診療所が 1 箇所ある。</p> <p>○地域内に身体合併症に対応できる病院、「高次脳機能障害」の診断が可能な病院、認知症疾患医療センターはない。</p> <p>【救急医療】</p> <p>○平日夜間及び土・日、祭日などの時間外の救急体制は、1 次救急として、御殿場市救急医療センターが「内科、小児科、外科」の時間外診療に対応している。</p> <p>○2 次救急は、富士病院、御殿場石川病院、東部病院、富士小山病院、フジ虎ノ門整形外科病院が参加した輪番体制が敷かれている。</p> <p>○3 次救急は、地域内にはない。</p> <p>○救急告示病院は、富士病院、フジ虎ノ門整形外科病院、東部病院、御殿場石川病院、富士小山病院の 5 箇所である。</p> <p>【災害医療】</p> <p>○災害拠点病院（県指定）は、地域内にない。</p> <p>○救護病院として、御殿場市内で 4 病院（富士病院、東部病院、御殿場石川病院、フジ虎ノ門整形外科</p>	<p>○圏域で対応</p> <p>○地域としても、喘息の専門治療に対応できる医療機関を設置するとともに、呼吸器専門医を確保する必要がある。</p> <p>【肝炎】</p> <p>○圏域で対応</p> <p>【精神】</p> <p>○主に圏域で対応</p> <p>○圏域で、精神の身体合併症を担う医療機関を増設する必要がある。</p> <p>○地域内に認知症疾患医療センターの設置を検討することが必要。</p> <p>【救急医療】</p> <p>○一次・二次救急（小児救急を除く）は比較的充実。</p> <p>○三次救急は圏域で対応。</p> <p>【災害医療】</p> <p>○災害拠点病院は圏域で対応。</p>

7 疾病 5 事業 在宅医療に関すること

各地域の現状 (できること、できないことの確認)	現状から見える課題と対応策(案) (医療資源の不足を補うための具体策)
<p>病院)、小山町内で2病院(自衛隊富士、富士小山)が指定されている。</p> <p>【へき地医療】 ○該当なし</p> <p>【周産期医療】 ○地域内に、正常分娩を担う病院はなく、地域周産期母子医療センターもない。 ○正常分娩を担う診療所は御殿場市内に1箇所のみである。 ○平成27年次の当地域の出生数は1,005人であるのに対し、分娩実績は333件であり、地域の出生数に対応できていない。</p> <p>【小児医療】 ○地域内に、小児専門医療に対応できる病院はない。 ○休日時間外における小児の軽度の初期(一次)救急医療は、御殿場市救急医療センターが対応している。 ○入院が必要な小児救急医療機関は富士病院が担っているが、小児科医の確保が難しいことから夜間はオンコール対応となっている。</p> <p>【在宅医療】 ○在宅医療を支援する医療機関として、在宅療養支援病院はなく、在宅療養支援診療所が4箇所、在宅患者訪問薬剤管理指導料対応薬局が30箇所ある。(平成29年5月1日現在) ○在宅医療を支える上で重要な役割を果たす訪問看護ステーションは、御殿場市に3箇所(御殿場市内を事業対象区域とするものは6箇所)あり、小山町には設置されていない(小山町を事業区域とするものが4箇所ある)。但し、中小規模のステーションが多いため看護師が少なく、24時間対応が難しい。(平成29年3月現在)</p>	<p>【へき地医療】 ○該当なし</p> <p>【周産期医療】 ○分娩を扱う医療機関は不足している。医療体制の確保拡充が必要である。</p> <p>【小児医療】 ○休日時間外における小児二次救急体制の拡充、輪番体制の確保。</p> <p>【在宅医療】 ○訪問診療を担う診療所を増やすとともに、訪問看護ステーション設置数を増やし、また、住民への普及啓発などを踏むことを通じて、在宅診療と在宅看取り体制の充実を図る必要がある。</p>

駿東田方構想区域内
地域ごとの医療提供体制の検証

北駿地域

御殿場市 小山町

7 疾病 5 事業 在宅医療に関すること

各地域の現状 (できること、できないことの確認)	現状から見える課題と対応策(案) (医療資源の不足を補うための具体策)
<p>○在宅医療を実施している診療所（28 年度実績、月平均実績 1 名以上）は、御殿場市が 2 箇所（7.3%） 小山町が 2 箇所（20.0%）である。</p> <p>○死亡者数に占める自宅で死亡した者の割合(平成 26 年実績)は、御殿場市 8.2%、小山町 4.9%であり、 県平均（13.2%）を下回っている。</p>	

医療機関の役割分担、病床機能等に関すること

各地域の現状
(できること、できないことの確認)

現状から見える課題と対応策(案)
(医療資源の不足を補うための具体策)

○平成 28 年病床機能報告結果を見ると、1 市 1 町合計で以下の状況となっている。(精神病床は除く)

	病床数	構成比	H37 構成比 (圏域全体目標)
高度急性期	56	5.0%	12%
急性期	364	32.4%	32%
回復期	94	8.3%	32%
慢性期	610	54.3%	24%

○駿東田方圏域全体と比べて、高度急性期及び回復期の機能が少なく、慢性期が半数以上を占めていることが特徴である。

○「回復期」を担っている病院(平成 28 年病床機能報告結果)は、フジ虎ノ門整形外科病院 (42 床)と有隣厚生会富士病院 (52 床)である。

○地域包括ケア病床を持っている病院は、地域内にはない。回復期リハビリテーション病床を持っている病院は、フジ虎ノ門整形外科病院 (42 床)のみであるが、今後、これらの機能を担う医療機関を増やしていく必要がある。(平成 29 年 6 月現在)

○訪問診療の実績と平成 37 年度必要量との比較

	平成 28 年度 訪問診療月平均	平成 37 年度 訪問診療目標量
御殿場市	177(人/月)	392(人/日)
小山町	2(人/月)	94(人/日)

○療養病床の転換について検討が必要。

○地域の中小病院で急性期機能を担っているところを中心に、回復期機能への移行を検討していただく。

○地域包括ケア病床、回復期リハビリテーション病床を担っていただく医療機関の設置・増設を図る(基金の活用)。